

令和2年1月9日
(事務担当)
総務課人権推進室
道上
TEL : 076-225-1235
内線 : 3386

人権啓発リーフレット「新成人に贈る人権メッセージ」の配布について

1 目的

日々の生活の中、何気ない言葉や行動で周りの人の心を傷つけていることがあります。

しかし、常に他人に対する「思いやりのこころ」を持ち、正しい人権感覚を身につけるよう心がければ、心豊かな社会を築くことができます。

そこで、人生の一つの節目を迎えた新成人に対し、人権の尊重が自分たちの行動規範となるよう、人権メッセージを伝える啓発用リーフレットを配布するものです。

2 リーフレットの内容

(新成人へのメッセージ)

- ・ 石川県知事 谷本正憲 『相手を思いやる心』
- ・ 男子競歩選手 鈴木雄介 『新成人の皆様へ』
(富士通株式会社所属・能美市出身)

(新成人の人権に関する経験談)

- ・ 志賀町 谷内幸奈 『20年間のありがとう』
- ・ 川北町 中田大誠 『思いやりと優しさ』

3 その他

- (1) リーフレット (B4 3つ折り カラー刷り) は、11,000部作成し、令和2年の市町の成人式で配布する。
- (2) 「新成人に贈る人権メッセージ」は、平成11年の成人式から配布している。

人権とは…

「人権」というと、どうしても、特別なこと、難しいこと、堅苦しいことといったイメージを思い浮かべがちです。

しかし、「人権」は私たち一人ひとりにとってかけがえないとても大切なものであり、誰もが生まれながらにして持っている、誰からも侵されることのない、人として幸せに生きていくための当然の権利です。

また、日頃からの思いやりの心によって守られるものであり、だれもが心で理解し、感じるができるものではないでしょうか。

お年寄りが疎外されたり、いじめや体罰の問題、子どもに対する虐待、性別の違いや同和地区出身という理由による差別、障害のある人、外国人、ハンセン病などの感染症患者、性的少数者に対する偏見や、犯罪被害者やそのご家族に対しての興味本位のうわさや中傷、また、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害や、東日本大震災を契機として、高齢者など配慮を必要とする方々の災害時における人権尊重など人権にかかわる問題が起きています。

私たちは、誰もがみな幸せに生きたいと願っています。同時に、家族や友人などまわりの人々の幸せも願っています。すべての人々が幸せに生きていくために、お互いの人権を尊重し、思いやりを持って相手と接する、心豊かな人間関係を築いていきましょう。

世界人権宣言

— 1948年12月10日第3回国際連合総会で採択 —

第1条 すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神を持って行動しなければならない。

国立工芸館完成イメージ



2020年夏 国立工芸館開館
日本海側初の国立美術館が誕生します！

みんなで築こう 人権の世紀



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん



石川県総務課人権推進室

TEL.076-225-1235
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/soumu/>
石川県人権啓発活動ネットワーク協議会



このリーフレットは再生紙を使用しています。

2020年 新成人に贈る人権メッセージ

HUMAN RIGHTS MESSAGE

考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認め合う心



石川県



Message



相手を思いやる心

石川県知事

たにもと まさのり
谷本 正憲

新たに成人を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

二十歳という年齢は、周囲から大人としての自覚と社会に対する責任ある行動がこれまで以上に求められることとなる、人生における大きな節目です。

21世紀は「人権の世紀」と言われていますが、子どもに対する虐待、学校でのいじめや体罰、性自認・性的指向を理由とする偏見など、人権をめぐる深刻な問題が後を絶ちません。

また、SNSをはじめとするインターネット上での書き込みが、個人の名誉やプライバシーの侵害につながる事例も増えており、人権問題はますます多様化し、複雑なものとなっています。

差別や偏見のない、誰もが幸せに暮らせる社会を築いていくためには、私たち一人ひとりが自分自身をかけがえのない存在であると自覚すると同時に、他の人も同じく大切な存在であることを心に刻み、お互いに相手を思いやるのがとても大切です。

『論語』に「己の欲せざる所、人に施す事なかれ」という言葉があります。自分がされて嫌なことは人にもしてはいけないという意味ですが、いつの時代も、相手の立場になって考える「思いやる心」を忘れてはいけないということを、現代に生きる我々にも伝えてくれています。

大人の仲間入りをした皆さんが、新たな時代を築いていくためには、困難なことにも積極果敢にチャレンジする勇気や的確な洞察力、行動力が求められますが、もう一つ、お互いを尊重し合う「思いやる心」を持って、その若い力を大いに発揮されることを心から期待しています。

新 成 人



20年間のありがとう

谷内 幸奈 (志賀町)

この度、成人式を迎えるにあたり、20年間の振り返ってみると、今こうして充実した生活を過ごせているのは沢山の方に支えてもらっているからこそだと強く実感しました。いつも応援してくれる家族や一緒にいてくれる友達、今まで関わってくれた学校の先生方、地域の方々など。全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。身近な存在ほど感謝の気持ちを言葉で伝えることが少ないかもしれません。「ありがとう」は相手も自分も嬉しくなる素敵な言葉です。たった一言ですが、大きな意味を持っています。成人したことを機に改めて周りの大切な人たちに「ありがとう」を声にして伝えたいと思います。

これからは、思いやりの気持ちを大切に、沢山の人に笑顔を与えられる大人になれるよう努めていきます。



思いやりと優しさ

中田 大誠 (川北町)

私はこれまでの人生で「思いやり」や「優しさ」について、特に深く考えたことはありませんでした。ですがこの度、このような機会をいただきましたので、しっかり考えてみようと思いました。私がアルバイト中に、商品を探しているお客様に場所を教えた時などには「ありがとう。」と言ってもらったりして、「思いやり」や「優しさ」を感じます。そんな中、私は周りの人たちに「思いやり」や「優しさ」を伝えられているのかと不安になりました。だから私は「ありがとう」という言葉を大切にしていこうと思います。「ありがとう」という言葉は、「思いやり」や「優しさ」を簡単に伝えることができると思うからです。

大人になって、たくさんの「思いやり」や「優しさ」を感じている分、恩返しをしていこうと思います。そして心豊かで明るい社会を築く担い手になっていきます。



Message



新成人の皆様へ

男子競歩選手 (富士通株式会社所属)

すずき ゆうすけ
鈴木 雄介

ご成人おめでとうございます。

私事ではありますが、昨年のドーハ世界陸上50km競歩におきまして金メダルを獲得し、東京2020オリンピックの内定をいただくことができました。これも日頃からご声援を送っていただき、支えてくださっている石川県の皆様のおかげです。まだまだ未熟ではありますが、皆様の先輩にあたる者として、激励の言葉を送りたいと思います。

私自身、成人になった時を思い返すと、ジュニア(U20)というカテゴリーから、シニア選手として戦っていかなければならない転換の時期でした。ジュニアでは世界大会で銅メダルを獲得できましたが、シニアでは世界のメダリスト達との差は途方もなく大きく、そこに辿り着くことが容易には想像できないレベルでした。この時は正直、「自分は世界のトップレベルにはなれないかもしれない。」と思ったこともありましたが、「ダメだったとしても本気で挑戦してみよう。挑戦してうまくいかなければ他の事をすればいいだけ。やれるだけの事はやろう。」と一念発起しました。それから約10年、ようやくシニアの世界で金メダルに届きました。何事もやる前から諦めてしまっは勿体無いと思います。ダメだとしても次があるという気持ちで、何事にも挑戦して欲しいと思います。夢を叶える第一歩は夢を描く事、そして、二歩目は挑戦すること。まずこの第一歩、第二歩を意識して力強く成長してください。

ご活躍を期待しています。

